

## ☆お知らせ:付属CD・DVDが手許に取り残されていませんか?

◎教室や部室などにあったら、図書館に届けてください。

近年、スポーツの本や語学のテキスト・参考書についているCD・DVDが、返却の際、元に戻されていないケースが起きるようになりました。現在、下記の2冊の付属CD・DVDを検索中です。

普段、不明本などは、学期末の大掃除の際に教室や部室に放置されていたのを図書館に届けていただいたら、長期休暇中に家を整理整頓していく見つかったりなどのケースが多くあります。学校や家の大掃除の際に見つかったら、図書館に届けてください。

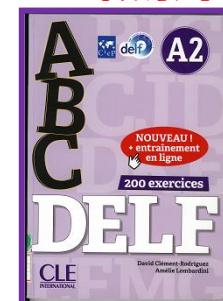
皆さんのご協力をお願いします。

## DVD検索中



『サッカー南米流 球際と攻めの仕掛けが強くなる DVD付き』

## CD検索中

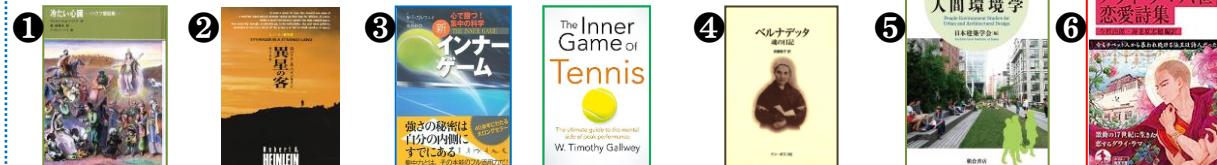


『ABC DELF A2』

## ☆借り出した本は、返却期限までに返却するか、貸出期限の延長を申し出てください。

◎返却遅れのペナルティーの貸出停止期間中に、授業利用で本を借りて読む課題があり、本を借りることが出来ずに困ってしまう事態が頻発中です。気を付けましょう!!

## ☆一学期の新着本 いろいろなジャンルからピックアップ!!



①『冷たい心臓—ハウフ童話集—』ヴィルヘルム・ハウフ著 福音館書店:19世紀ドイツのメルヒエン集。

◎②③:ビル・ゲイツが選んだ「人生で最高の5冊の本」から

②『異星の客』ロバート・A・ハイライン著 創元SF文庫:異星から帰って来た男と地球人の行動を描く。

③『新インナーゲーム』The Inner Game of Tennis ガルウェイ著 日刊スポーツ/PAN BOOKS:自分自身の殻を打ち破って、内なる才能を限界近くまで引き出すために、自己の内面を分析し、適切に動かせる方策を述べる。自己主義ではなく、自己の内側のチャレンジである。テニスのみならず、他のスポーツその他の活動についても参考になる。(原書と日本語訳を購入しました。)

④『ベルナデッタ 魂の日記』安藤敬子訳 トン・ボスコ社 :ルルドの泉を発見した聖ベルナデッタの日記・手記

⑤『都市・建築デザインの人間環境学』日本建築学会 朝倉書店:建築・都市システム工学・環境科学等の志望者に。

⑥『ダライ・ラマ六世 恋愛詩集』今枝由郎 他訳注 岩波文庫:詩と解説(還俗を望んだ六世の生涯など)

## ☆高1生物基礎の夏休み課題のための本を、入口入ってすぐの白いワゴンの一角に集めています。

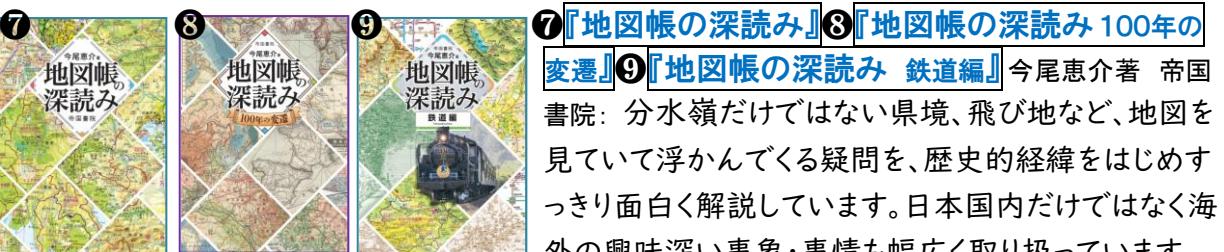
◎他にも各種推薦図書コーナー・学習&探究(調べ学習)支援コーナー・開架スペース400番台のエリア・新書コーナなどを探してみよう!!

授業中は、理科関係図書で新着図書や各種推薦図書リストの中の一部の本を、閲覧スペースの机の上に広げて置いていました。今後は新着本の理科関係の本は館内入口正面の白いワゴンに置いています。

◎「iPadでやるからいい」という人もいましたが、それは「理科に関する本を読む」という課題で得られるはずの本当の学びをしたことにはなりません。

今回出されたのは、理科に関する本を一冊読んで、先生ご指定の内容について記述する課題ですが、それによって、関連する知識や考え方をいろいろと吸収することができるのです。iPadでどう誤魔化すつもりなのか知りませんが、本をきちんと読んだ場合の方が、より体系的な、あるいはよりまとまった知識や考え方方が身につき、理科の学力、ひいては学力全体にとってよりプラスとなることは明らかです。課題にはしっかり取り組もう!

## ☆先生方からご紹介・ご寄贈いただいた本・教員推薦図書の新版など 全て新着



⑦『地図帳の深読み』⑧『地図帳の深読み 100年の変遷』⑨『地図帳の深読み 鉄道編』

今尾恵介著 帝国書院: 分水嶺だけではない県境、飛び地など、地図を見て浮かんでくる疑問を、歴史的経緯をはじめすっきり面白く解説しています。日本国内だけではなく海外の興味深い事象・事情も幅広く取り扱っています。

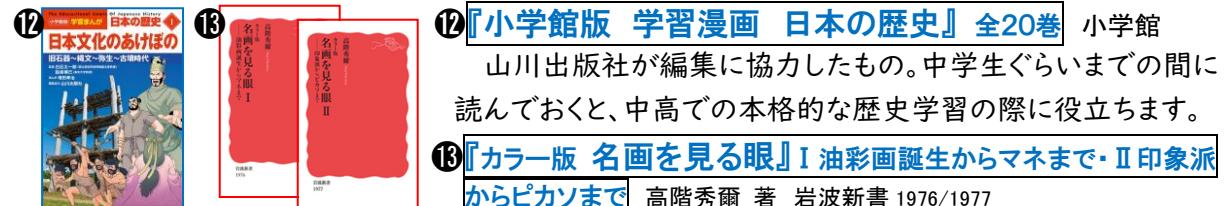
## ◎本格的な解説を論点ごとに解り易く提示した本。押さえるべきポイントがわかる!!



⑩『論点・日本史学』岩城卓二 他編著 ミネルヴァ書房 (全154論点)  
時代ごとに「総論」を置いた上で、30~61の論点を見開き2ページずつで解説する。各論点内に用語解説や参考文献も載っている。

参考書にプラスして読んでみよう!!  
山口みどり 他編著 ミネルヴァ書房: 現代のLGBTQについての学びだけではなかなか見えてこない歴史的経緯を知ることで、考慮すべき多様な事情を把握することができる。探究学習・調べ学習の際には、テーマや調べる方針を決める前にこの本もチェックしてみましょう。

## ◎歴史学習と、絵画鑑賞が楽しくなる本!!



⑫『小学館版 学習漫画 日本の歴史』全20巻 小学館  
山川出版社が編集に協力したもの。中学生ぐらいまでの間に読んでおくと、中高での本格的な歴史学習の際に役立ちます。

⑬『カラー版 名画を見る眼』I 油彩画誕生からマネまで・II 印象派からピカソまで 高階秀爾 著 岩波新書 1976/1977

推薦図書「先生方からおすすめする本」の2冊ですが、この度カラー版が出ましたので改めて紹介します。2冊で合計29点の絵画について見どころを解説(各絵画読み切り)しながら西洋美術史の入門をも兼ねる本。参考図版も大幅に増え、最新の研究成果も注で加えられています。今後の美術館巡りが楽しくなるだけでなく、現代文の文化や精神史等の評論文の理解にも大いに役立ちます。



## ☆お知らせ:夏休み長期貸出 実施中!

◎返却期限:8月25日(金) 貸出冊数:6冊まで

## 夏休み開館

7月26日(水)~8月9日(水)の平日  
9:00~16:00  
8月21日(月) 9:00~13:20  
22日(火)・23日(水) 9:00~16:00  
24日(木) 12:00~16:00  
となっていきます。  
どうぞご利用ください!!



## ☆入試で小論文など、論述が必要/必要になるかもしれない人へ(全学年対象)

## ◎どの分野でも憲法と倫理は押さえておくべきです 例:環境・建築・医療・国際関係等も

法律学科を目指す人だけではなく、人権や私有財産が関わるすべての分野・社会問題において、現実の課題の解決策を考える際に必ず確認しておかなければならぬのは憲法です。そして、対立する利害の調整の際には、倫理・法律に則って判断しなければなりません。

これまで何度か紹介してきましたが、下記の2冊をまず読むようにしてください。

(推薦図書「進路・小論文・現代文のための本」の棚にあります。各々複数所蔵しています。)



## ①『いちばんやさしい憲法入門』第6版 初宿正典 高橋正俊

米沢広一 棟居快行 著 有斐閣

憲法における争点の内、私達にとって身近で大事な22のテーマについて、面白くやさしい話題から書き起こし、その論点・主要判例・課題・今後の展望などを解説する。基本的人権・民主政治を偏りなくカバーしている。自分の意見を憲法

の理念や基本事項を基に、あるいはそれらに反ないように展開していくために参考になる本。

## ②『現代倫理学入門』加藤尚武著 講談社学術文庫

臓器移植や環境問題など現代社会の様々な課題に絡むジレンマ・難問15種について、例や理論を挙げて論証・解説する。倫理的・現実的に最善な解決を導くための考え方方が身に付くようになっている。

## ◎特にカトリック系の大学(上智大学・南山大学など)を目指す人が読んでおくべき本



## ③④共に教皇フランシスコ著 カトリック中央協議会

③『回勅 ラウダート・シ ともに暮らす家を大切に』 環境問題  
とそれに伴う社会問題を分析。課題を示し解決のための提言を行う。

④『回勅 兄弟の皆さん』 地球上の社会問題を幅広く提示し、分析・本質と課題を提示し、今後の取り組み方を示す。

## ☆入試の準備で必要な参考書籍のリクエストは「早め」が吉!

◎中学生からでもどしどし相談に来てください!!



志望分野・学部はそんなに早く決めることはできないこともあるでしょう。知識や視野が広がるにつれて、新しく興味のある分野に出会うこともよくあるからです。いずれ志望分野が変化してしまうにせよ、今現在興味のある分野についての書籍・資料をどんどん見て学んでみましょう。

本校の生徒の皆さん、その準備に取り掛かるのが、近年、非常に遅い傾向にあります。ここ数年はそれが極端になり、入試の1週間前後というケースが頻発し、中には数日前などという人も……これでは、いくら何でも入試問題に太刀打ちできるわけがありません。しかも、その一方で、何ヶ月も前、あるいは数年前からその学科を目指して準備してきた受験生たちもいるのです。

中学生の内から興味のある分野を学んで伸ばしていくのは、早すぎることではありません。実際に、京都大学ではそのような学生が普通にたくさんいます。自分が面白いと思う分野の学びをどんどんやってきた人たちです。皆さんも、やってみようということがある人、あるいは何かやってみよう、という人は、是非図書館のカウンターに相談しに来てください。

## ◎高い専門性を身に付け、それを使って仕事をすることを目指そう

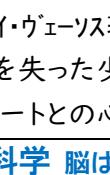
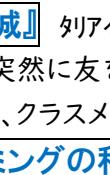
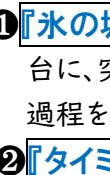
どのような分野を専攻するにせよ、専門知識を身に付け、それを活かして仕事をすることを第一に考えましょう。仕事に役立てるとなると、より深く高い専門知識を身に付けている方が良いのは当然のことです。

自分の生き方と仕事を考え、それに従って志望の学部・学科を選びましょう。大学に入ってから、新しい分野に出会い、専攻を変更する場合もありますので、「一度決めたら変えられない」と悩まないで、とにかく現時点での志望学部・大学を早めに決めて準備に取り掛かってください。(転専攻だけではなく転学部を想定する人は、単科大学ではなく総合大学を選ぶと良いでしょう。)ここ数年、願書を出す時になって「受験科目の少ない学部・大学」「不得意科目が入試がない学部・大学」「学科試験は無理だから小論文入試のところ」という理由で受験先を選び、入試数日前に先生方に促されてやっと図書館に本を探しに来る人が多くなっています。合格するケースは少ないのですが、万一合格しても、自分の将来の仕事につながるはずの専攻をそのような理由で決めてしまったら、いわゆる「ミスマッチ」という事態に陥る可能性が大いにあります。大学に入ってから「こんなはずじゃなかった」「大学が自分に合わない」「専攻に興味が持てない」など。一般には、それによって、学業に身が入らず留年・中退するケースも少なくありません。

どの学年の皆さんも、大学でどんな面白い勉強をしようか?と早めに考え始めてください。そして、楽しんで準備していただきたいと思います。図書館では、そんな皆さんの支援をしていますから、是非相談しに来てください!!



## ☆新着本 読み物(小説・科学の本) 他にも入っています 見てみてください



①『氷の城』タリア・ヴェーソ著 国書刊行会:ノルウェーを舞台に、突然に友を失った少女の魂が喪失を統合していく過程を、クラスメートとの心の交渉と共に繊細に描く。

②『タイミングの科学』脳は動作をどうコントロールするか】乾信之著 京都大学学術出版会:練習・「からだで覚える」記憶・敏捷・タイミング・チームプレーについて。

③『小説みたいに楽しく読める 免疫学講義』小安重夫著 羊土社:豊富な図解と平易な言葉で解説